

# 社会に対する視野を広げ、 その中で自分を活かす道を探ろう

神奈川県茅ヶ崎市立第一中学校 研究代表者 林 みゆき先生  
TEL 0467-85-1181 FAX 0467-85-1182

## 1. 活動のねらい

本校では、総合学習において、1年次に地域学習・防災学習など、身近な地域をより深く知る学習を行い、防災センター訪問、地域の戦争を体験した方にお話を伺ったり古くから伝わる民話を語っていただいた。2年次には自分の個性や特技について考えたり、職業調べや保護者へのインタビューを通して職業を知り、さらに自分の夢や興味のある職場で実際に職業体験をした。

3年次ではこれまでの学習を活かし、個人課題研究と題して、ジャンルを問わず、自分の興味のある分野について調べ学習をし、さらに社会の中でどのように自分を活かせるかを考えた。生徒一人ひとりが日本そして国際社会に目を向け、社会の一員としてどのように自分の力を発揮するか、どう行動につなげていくかを学ばせたい。

## 2. 活動計画

月	主 な 内 容
7～8月	個人課題の決定
9～11月	個人課題に関する調査・研究
12月	研究経過報告
1月	個人課題研究の最終まとめ
2～3月	個人課題研究の発表会・評価・反省

## 3. 実 践

個人課題研究という形式のため、一人ひとりがさまざまな視点で課題を設定した。その中でユニセフの資料に目を通し、他の団体のホームページや書籍類などを総合してレポートの作成を行った。

- 1 自分の興味のあるテーマ(言葉)を中心にイメージマップを作成する。
- 2 イメージマップをもとに、テーマを決定する。
- 3 書籍、インターネットなどを活用して調査・研究する。
- 4 写真・模造紙・パワーポイントなどを活用して調査・研究内容をまとめ、人にわかりやすく伝える発表形式を工夫する。
- 5 これまでの発表経験を活かし、互いの発表を聞き合って、声の大きさ、内容を伝えるための話し方、資料の提示方法などを評価し、研究の反省をまとめる。

① テーマの例（ユニセフの資料を取り入れた研究）

- ストリートチルドレンについて ～その現状と課題～
- 児童労働 ～インドの子ども達のじゅうたん作り～
- 世界の貧しい子供たちを救いたい
- 貧しい人のための支援団体について
- 国際協力の仕事と私たちにできること
- 戦争や内戦はどうしてなくなるか
- スモーキーマウンテンで暮らす人々へ
- 戦争によって被害を受けている子ども達
- 世界平和に貢献した人物
- 世界の紛争と少年兵について

… など、その他多数

② 活用した資料

- ・ 子どもの権利条約カードブック
- ・ ユニセフ年次報告
- ・ ユニセフ活動事例集
- ・ ユニセフ基礎リーフレット
- ・ 私も学校に行きたい
- ・ ユニセフ手帳
- ・ T・NET通信
- ・ ユニセフニュース
- ・ ユニセフ活動報告

自分の学習する分野について、まず全体的な知識を得たいと順番に丁寧に読み進めていく生徒や、いくつかの団体の活動について興味を持ち、その中でユニセフにたどり着く生徒など、さまざまな取り組み方があった。

## 4. 成果と課題

代表生徒のレポート中心に報告させていただきます。

### テーマ 『国際協力の仕事と私たちにできること』

**動機：** 同じ地球に住んでいながら、食料や水不足で貧困な国が多い。また戦争があり、子ども達の夢や命が奪われたり、きちんとした教育や医療などが受けられない子ども達がとても多いことをユニセフのたくさんの資料を見て知ることができた。そういう子ども達に何か手助けできないかと考えた。

**目的：** 中学生の私たちにでもできることはないか。  
また、豊かな国である日本ができることはないか。

**結果：** 安全な水と衛生を確保するために … ユニセフの活動について

世界の人口の40%の人々が、トイレなどの基本的な衛生設備が整わない環境に暮らしている。そして10億人が安全ではない水を日々の生活に利用している。ユニセフは、40年以上にわたって、学校教育や保健所を通じて住民に衛生習慣を広め、人々が安全な水と衛生施設を手に入れられるよう、活動している。

また、自然災害などの緊急事態が発生したときに、現場の『水と衛生』について、さまざまな支援団体の活動を調整する、主導機関としても機能している。

あなたの募金でできること

(右写真の資料)

**まとめと課題：** 安全な水や衛生施設がないために、多くの子ども達が下痢性の病気で命を失っている。しかし募金をすることによって、安全な水を提供でき、子ども達の命を救うことができる。多くの人にユニセフの活動を知ってもらい、募金への参加やユニセフ主催のチャリティーコンサートに足を運んでもらえるよう、呼びかけることが、地道ではあるけれども最も着実な活動である。

また、大切な水を無駄に使わない生活の工夫も取り入れたい。

**3,000円の支援で**  
経口補水塩を428人の  
子どもに…



**10,000円の支援で**  
ポリタンクバケツ、石  
けん、浄水剤などのセ  
ットを9家族に…



**50,000円の支援で**  
浅井戸用手押しポンプ  
パイプ、付属品一式を  
3基分…



今年度の総合学習では、研究発表後、自分の研究に沿った社会貢献活動を実践する時間が持てず非常に残念であった。この反省をもとに、来年度は生徒一人一人が活躍し、社会貢献の達成感を味わえるような計画を立てていきたい。